

平成 27 年度環境技術実証事業
ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）
第 1 回技術実証検討会
議事要旨（案）

1. 日時 2014（平成 25）年 6 月 23 日（火）10：00～11：30
2. 場所 鉄鋼会館 706 号室
3. 出席検討員 近藤検討員（座長）、永田検討員、堀川様、三坂検討員、（石神検討員代理）、
4. 梅田検討員、柳検討委員
5. 配付資料
資料検討会 1-0 : 議事次第
資料検討会 1-1 : 技術実証検討会検討員名簿
資料検討会 1-2 : 技術実証検討会設置要綱（案）
資料検討会 1-3 : 検討項目等計画書（案）
資料検討会 1-4 : 平成 27 年度環境技術実証事業実施要領
資料検討会 1-5 : 環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）実証試験要領（案）
資料検討会 1-6 : 年度スケジュール（案）

6. 議事

会議は公開にて行われた。

(1) 開会

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室・服部室長補佐より開会の挨拶がなされた。

(2) 審議事項

i) 技術実証検討会の設置について 【資料 1-1～資料 1-3】

事務局より、資料 1-1～資料 1-3 に基づき技術実証検討会の設置について説明した。審議開始にあたり、座長の選任を行った。事務局より近藤検討員を推薦し、承認された。

ii) 実証試験要領の見直しについて 【資料 1-4～資料 1-5】

事務局より、資料 1-4～資料 1-5 に基づき実証試験要領の見直しについて説明した。資料に対してなされた議論は以下のとおりであった。

【意見・質疑応答】

- P33 関西電力が 6/1 に電気料金の改定を行っているので、それを反映させてはどうか。
- P38 1.基本構成 文末「～してもよい。」という表現は適切ではないのではないか。また概要版、詳細版の構成を別々に記載した方が初見の方には判りやすいと思われる。
- P14 保水性の試験方法として新たに制定した「JSTM H 1001 建築材料の保水性、吸水性及び蒸発性試験方法」を入れてはどうか。
→試験方法に JSTM も併記し、今年度の取り纏めの際に分科会で検討を行う。
- 過去の実証結果を比較できる示し方はないか。結果の効果的な公表の方法について検討をする。

【結論】

- 指摘事項に関して修正を行う事で内容は承認された。

iii) 実証対象技術の公募について 【資料 1-5】

事務局より、資料 1-5 に基づき実証対象技術公募について説明した。

- P48 様式第 3 の確認書「2. 実証の定義」を実証要領をそのまま記述してはどうか。
- P46 様式第 1 別紙 1「実証技術の可否」→「実証の可否」に修正する。
- P48 4.ロゴマークの表示「11 章ロゴマーク等の使用」→「12 章ロゴマーク等の使用」修正する。

【結論】

- 以上の議論を踏まえ、申請書類 様式第 3 の確認書記載内容を修正する。
- 実証技術の公募期間は 7 月上旬から 1 ヶ月程度とする。

iv) 年度スケジュールについて 【資料 1-6】

事務局より、資料 1-6 に基づき年度内の実証試験スケジュール及び検討会、分科会のスケジュールを説明した。

- 次回の検討会を 9 月 9 日 10-12 時に開催する旨を確認した。

(3) 閉会

以上

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室〔速報のため事後修正の可能性有り〕)